



# 学校だより



丹波篠山市草ノ上 108 TEL558-0116 fax558-0260 令和7年12月号 No.8

## 「モチベーションの旬」

校長 安井健二

「光陰矢のごとし」という諺がありますが、2025年の月ごとのカレンダーの1枚も終わりが近くなり、時の流れの速さを感じずにはいられません。

先日、ある校区内の方から「最近、学校だよりにグアテマラの話がないですね！また書いてください」というありがたいお言葉をいただいたので、今回はグアテマラを題材にしながら、私たち一人一人に与えられていて、必ず有限で、それでいて使い方は一人一人に任されている「時間」について考えてみたいと思います。

私は、3年間グアテマラで暮らしたおかげで、外から見た日本についていろいろ気付くところがありました。

その一つとして「日本人ほど1分1秒を大切にできる国民は世界でも類を見ないのではないかな？（すべての人ではありませんが・・・）」ということがあります。電車は決まった時間に到着し、荷物はほとんど決まった時間に届きます。さらに、遅刻することをあまり「良し」としないのも、日本人のすばらしい国民性だと思います。

一方、グアテマラはどうかというと、時間に関してはものすごくルーズでした。品物を購入し配達を依頼すると、ものすごく調子よく「今日持っていきます」と言われます。しかし、大抵「届くのは明日」。「明日」と言われれば「3日後」。「3日後」と言われれば「1週間後」。「1週間後」と言われれば「もう来ない」といった具合に日本人にとってはイライラが募ります。さらに、「なぜ、日本人はそんなに焦るんだ？」と逆に聞かれたりしました。国民性とは言え、私は「Time is Money」で生活したかったのですが、なかなか思い通りになりませんでした。

以前『「すぐやる人」と「やれない人」の習慣』という本を読んだことがあります。その本は、「結果を出す人と、頑張っているのに結果が出ない人は何が違うのだろうか？」というところから始まります。

その違いは単に「気合」や「意志力」の違いだけではなく、「意志×環境×感情」の方程式であって、環境づくり、感情づくりが大切だと書かれていました。

例えばこんなことはないでしょうか？「勉強しよう」と思って参考書を買って、買ったことに満足して、「よし、これで大丈夫！明日から始めよう！」と自分を納得させたばかりに、その参考書を袋から出さないまま本棚へ、といったようなことです。

何か「やろう」とするモチベーションにも旬があります。減少したモチベーションをもう一度上げることは大変で、一歩踏み出すことは成功への鍵です。0を1に変えることで、より強い意志を持って継続することができると思います。

多紀っ子は、いよいよ2学期を終え冬休みを迎えます。そして、冬休み中に新しい年を迎え「今年は何を頑張ろう！」と、新しい夢を描き、決意し、その一歩を踏み出そうとすることでしょう。「まあ、今日は計画を立てるだけ！明日から頑張ろう！」ではなく、1年後、5年後、10年後の「自分」をイメージしながら、まず今日「0を1」にして欲しいと思っています。

「モチベーションの旬」を大切にしながら2026年、多紀っ子が飛躍してくれることを心から期待しています。

ちなみに、2026年は丙午（ひのえうま）で私は年男です。いよいよ還暦です！私の旬もこれからのはず！？ますます、がんばります。皆さん、よいお年をお迎えください！！

## 学びの成果・・・学習発表会

11月22日（土）に、4月からの学びの成果を発表する学習発表会を開催しました。たくさんの保護者の方々、地域の方々にご覧いただきました。ありがとうございました。

子どもたちも、これまでの学びを、表情、ジェスチャー、話し方等、各学年ごとに工夫しながら「より良く分かりやすく伝える」方法を模索していました。各学年の個性を大切にしたい発表ができたのではないかと思います。今後も、将来に向けた明るい展望を持つ「在りたい自分探し」の学習を続けていきたいと思っています。



## 金管ありがとうコンサート・・・最後の演奏



11月22日（土）、学習発表会に引き続き「金管ありがとうコンサート」を開きました。6年生にとっては、3年間打ち込んできた「金管クラブ」の集大成の場で、最後の発表会でした。

子どもたちの真剣な表情の演奏を聴かれた保護者や地域の方々からは、大きな拍手とアンコールをいただきました。アンコールの「キセキ」を聴きながら熱いものを感じたのは私だけではないと思います。

コンサートの後、6年生の頑張りをねぎらい、5年生へバトンを引き継ぐセレモニーが行われました。

6年生の皆さん、お疲れさまでした。



## 最後まで走り抜けた・・・マラソン大会

朝は寒く、まだ霧も完全には晴れていない12月2日（火）の朝、高学年→中学年→低学年の順番で、たくさんの保護者の方々の応援を受けながら、校内マラソン記録会のスタートが切られました。

始まる前から、「マラソン嫌やー!」「緊張する!」「しんどそうや!」と言いながら、スタートしていききました。

一人ひとり、得意、不得意もあって、それぞれ走るスピードは違います。しかし、自分のペースを守りながら走り切った、多紀っ子の表情からは終わった安堵感と走り切った充実感を感じました。そして、何よりうれしかったのは、最後まで、頑張っている友達を、早くゴールした人が大きな声で、最後の人がゴールするまで応援している姿に多紀っ子の温かさを感じました。



3 学期は、1 月 7 日からです。良いお年を！！